



コロンビアの最新経済・ ビジネス概況

日本貿易振興機構(JETRO)
ボゴタ事務所長
高多篤史

2018年10月9日

コロンビア概要



国名	コロンビア共和国(República de Colombia)
面積	1,141,748km ² (日本の約3倍)
人口	4,929千人(日本の約4割)
首都	ボゴタ(標高2,600m、人口約800万人)
一人当たりGDP	6,273米ドル
政体	立憲共和政
二院制	上院102議席、下院166議席(任期4年) *人民革命代替勢力(FARC)は今後2期に限り上下両院で5議席ずつの特別枠が与えられている。
元首	イバン・ドゥケ・マルケス大統領 2018年8月7日就任、任期4年



- ・生年月日: 1976年8月1日(42歳)
- ・学歴:
 - 米ジョージタウン大卒(公共政策学修士)
 - 米アメリカン大学(経済法修士)
 - セルヒオ・アルボレダ大学(弁護士)
- ・主な職歴:
 - 2001年～2013年 米州開発銀行
 - 2010年～2011年 国連
 - 2014年～2018年 上院議員
- ・横顔:

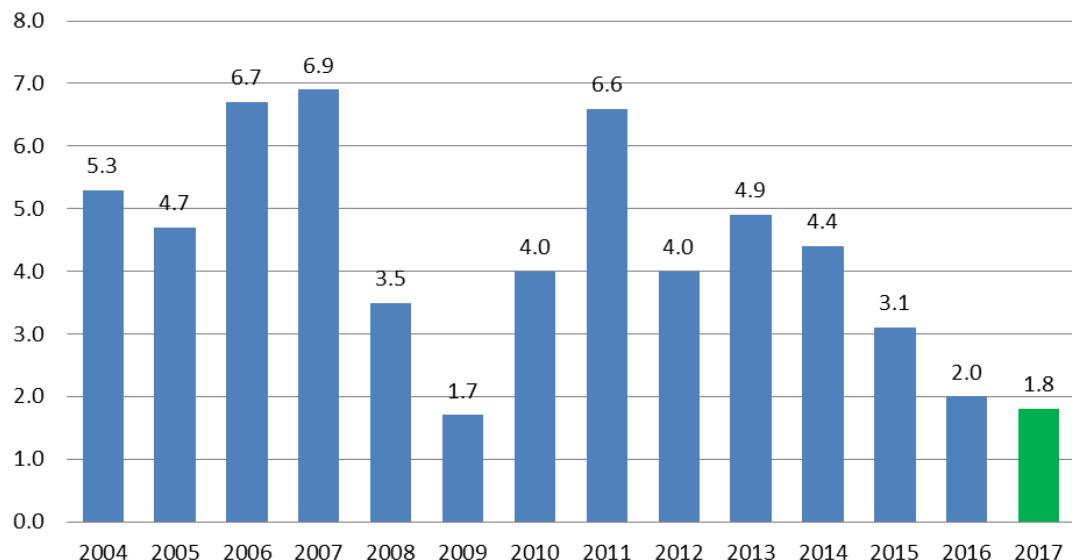
父親はアンティオキア県知事、鉱山開発などを務めた



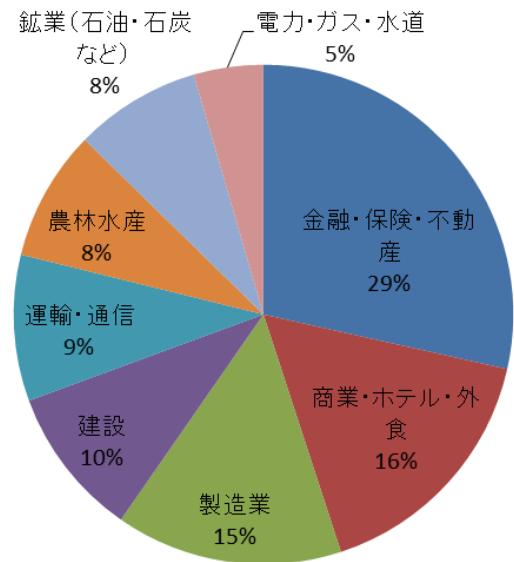
地図:コロンビア国土地理院((Insituto Geografico Agustín Codazzi)提供

コロンビア国内総生産(GDP)

実質GDP伸び率(%)



2017年産業別GDP構成比



(出所) 国立統計庁(DANE)資料から作成

2018年2Q:2.8%、1Q:2.2% (17年2Q:1.7%)

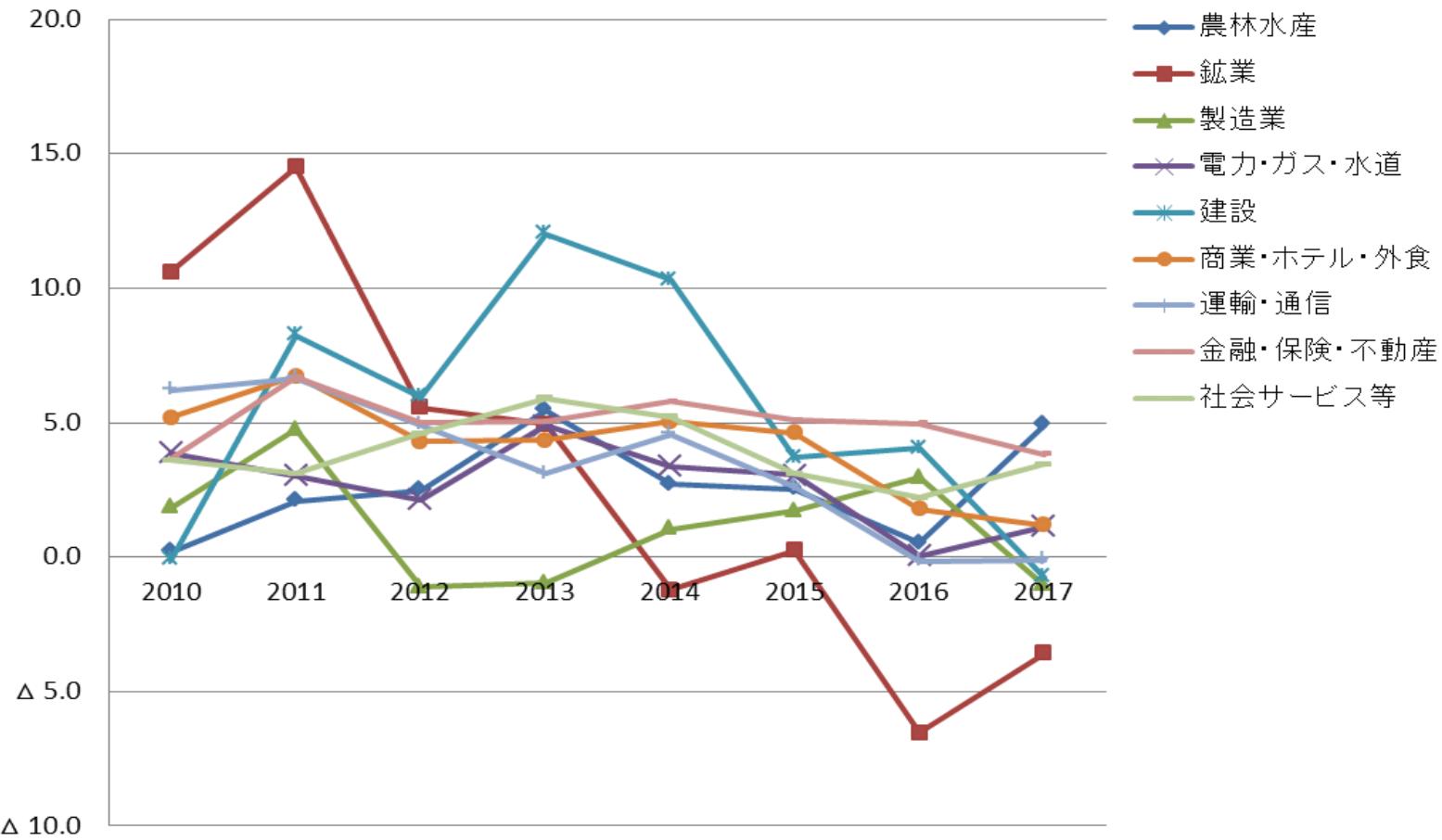
2018年見通し:2.7%(中央銀行)、2.7%(IMF)

2019年見通し:3.7%(中央銀行)、3.3%(IMF)

●安定した成長を維持

国内需要は総需要の平均86%を占める(直近10年間)

主要産業部門GDPの推移(%)



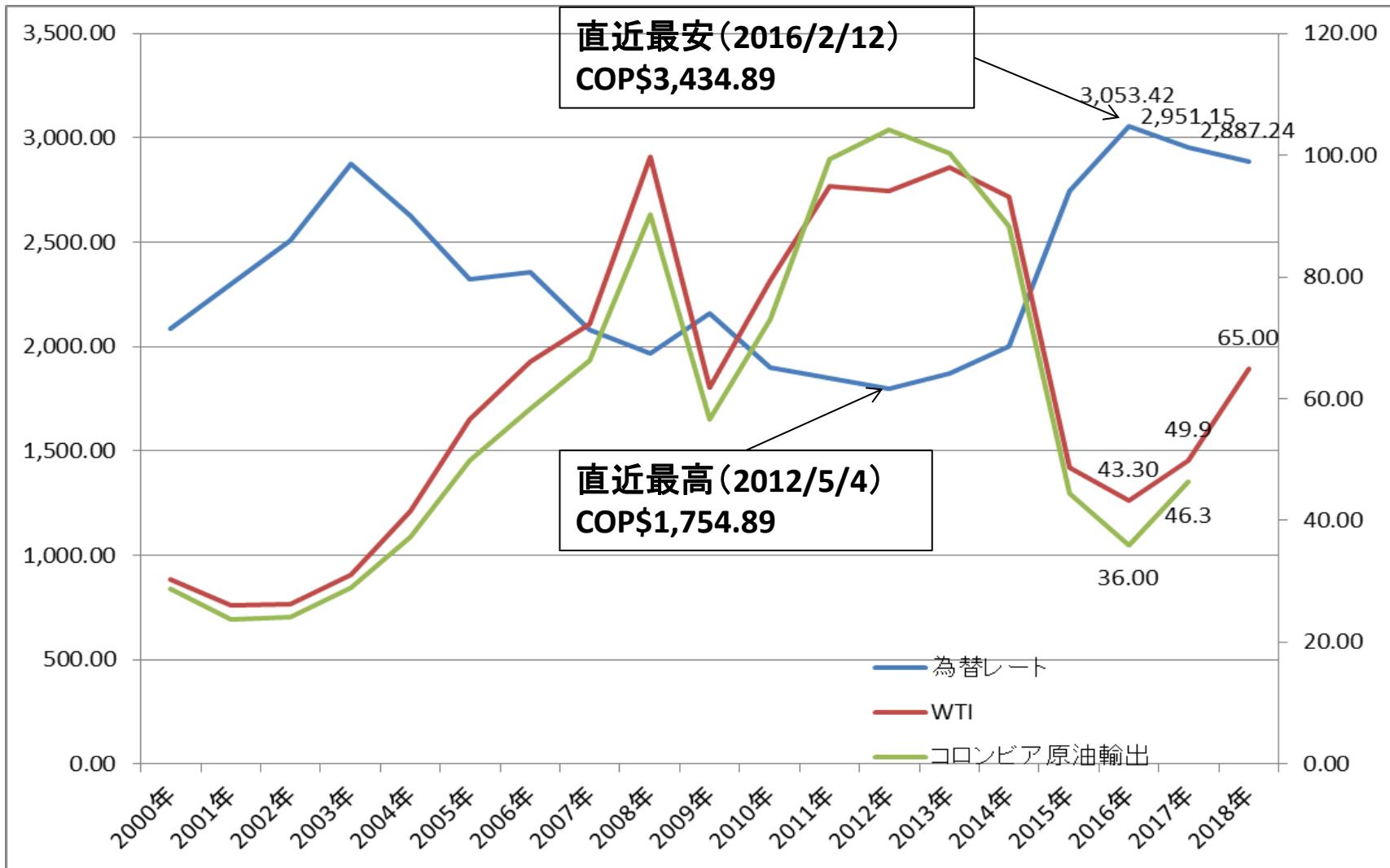
コロンビアにおけるインフレ率(消費者物価上昇率,CPI)の推移

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
インフレ率	5.50%	4.85%	4.48%	5.69%	7.67%	2.00%	3.17%	3.73%	2.44%	1.94%	3.66%	6.77%	5.75%	4.09%

(出所)国立統計庁(DANE)資料から作成

2018年8月:3.10%、政策金利 4.25%

対ドルペソレート、原油価格の推移



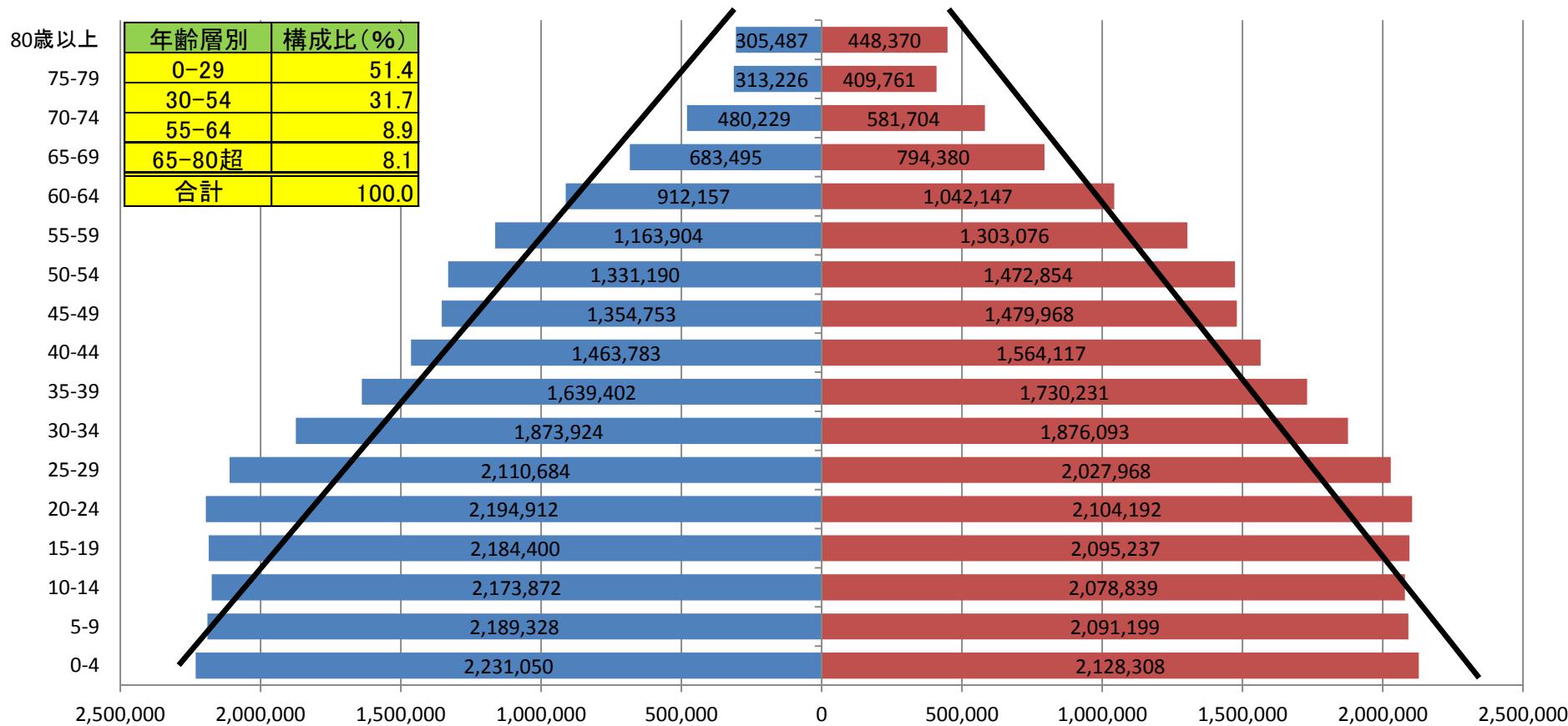
(注) 2017年のWTI、コロンビア原油輸出は、2017年1—9月の平均値、
2018年のWTIはACPの予測値、2018年の為替は1—9月の平均値
(出所)中央銀行統計、コロンビア石油協会(ACP)から作成

2018年9月末 COP\$ 2,972.18／US\$

人口構成

人口ピラミッド

■ 2018年(女) ■ 2018年(男)

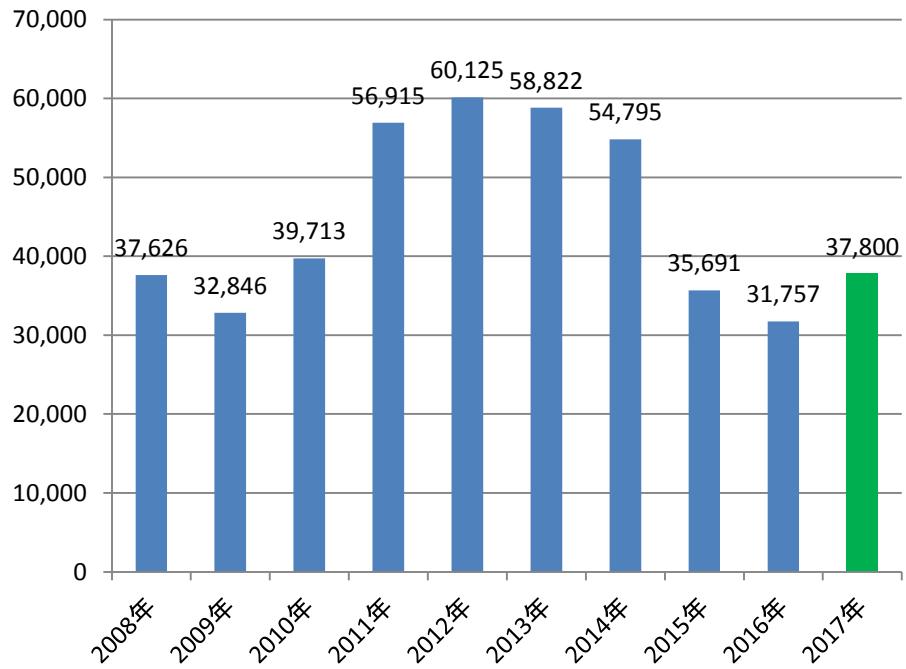


(出所) 国立統計庁(DANE)資料から作成。推定値。

貿易動向

輸出

コロンビア輸出推移(単位:百万ドル)



2017年:378.0億ドル(前年比19.0%増)

石油・石炭輸出:204.4億ドル(同32.5%増)

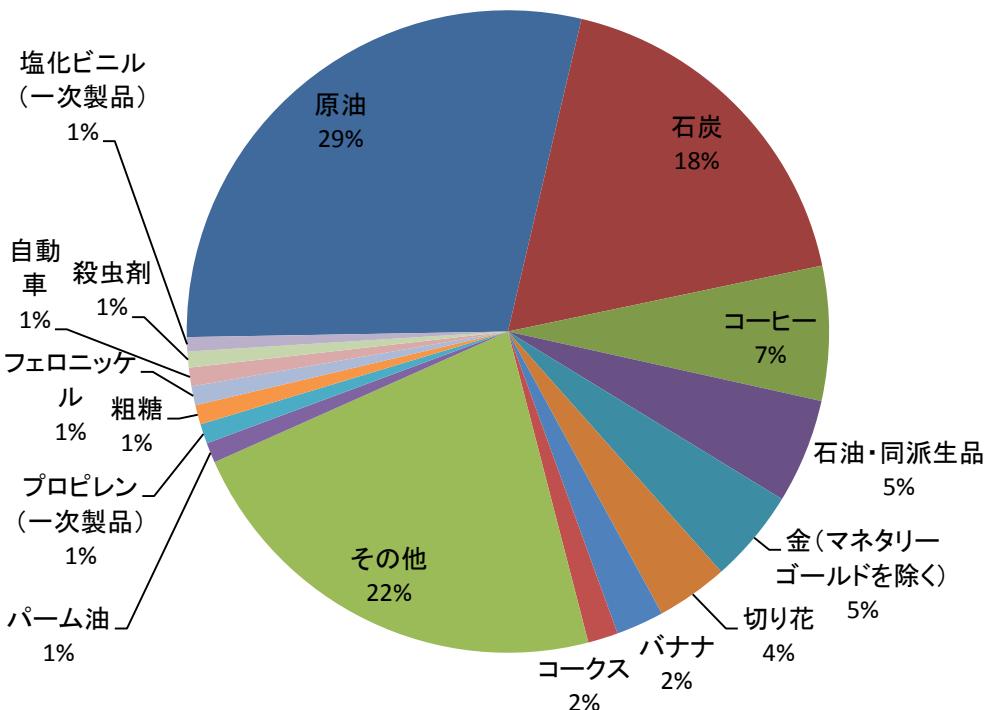
2018年1-7月:241.0億ドル(前年同期比14.9%増)

石油・石炭輸出:137.1億ドル(同24.2%増)

輸出上位5カ国: 米国(シェア27.9%)、パナマ(7.2%)、中国(5.3%)、オランダ(4.1%)、メキシコ(4.1%)、日本(13位、1.5%)

出所:国家統計庁(DANE)

品目別輸出構成(2017年)

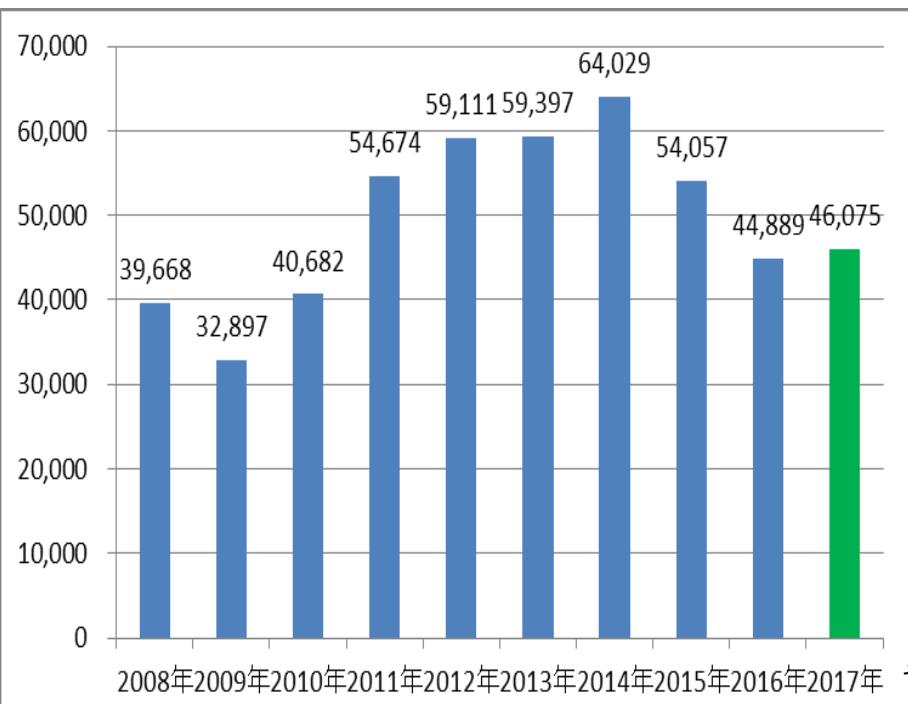


(参考)

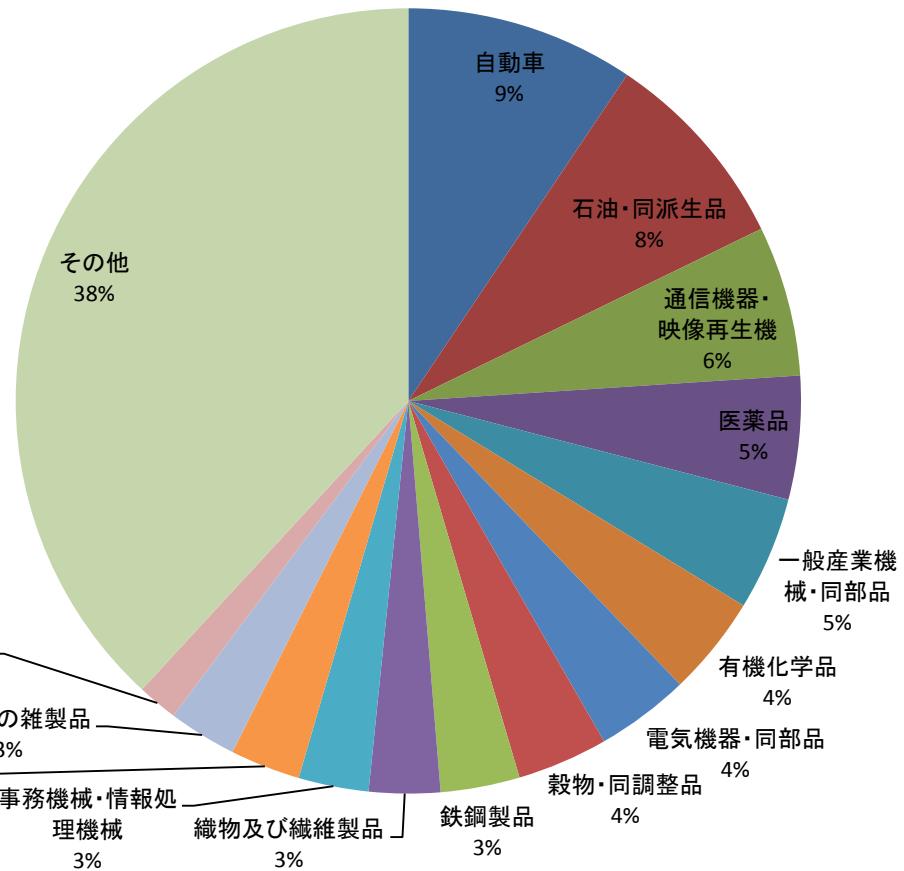
- エメラルド産出量 世界第1位
 - 花弁輸出量 世界第2位
 - ランの種類数 世界第1位
 - 多様性生物 世界第2位
- (出所)在日コロンビア大使館

輸入

コロンビア輸入推移(単位:百万ドル)



品目別輸入構成(2017年)



2017年:460.8億ドル(前年比2.6%増)

工業品(自動車等)輸入:352.3億ドル(同3.9%増)

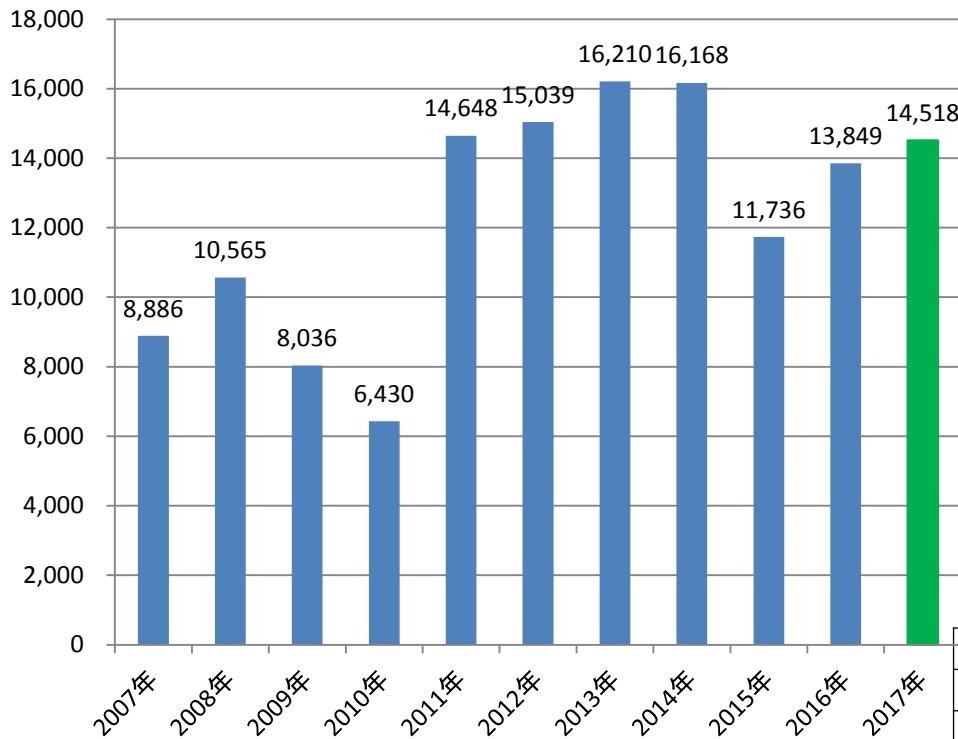
2018年1-7月:287.8億ドル(前年同期比8.2%増)

工業品:222.5億ドル(同10.0%増)

輸入上位5カ国:米国(シェア26.1%)、中国(19.0%)、メキシコ(7.5%)、ブラジル(5.0%)、
ドイツ(4.1%)、日本(6位、2.7%)

コロンビア向け外国直接投資(FDI)の推移

2017年前年比4.8%増



2017年：145.2億ドル(前年比4.8%増)

2018年1-6月：58.0億(前年同期比15.0%増)

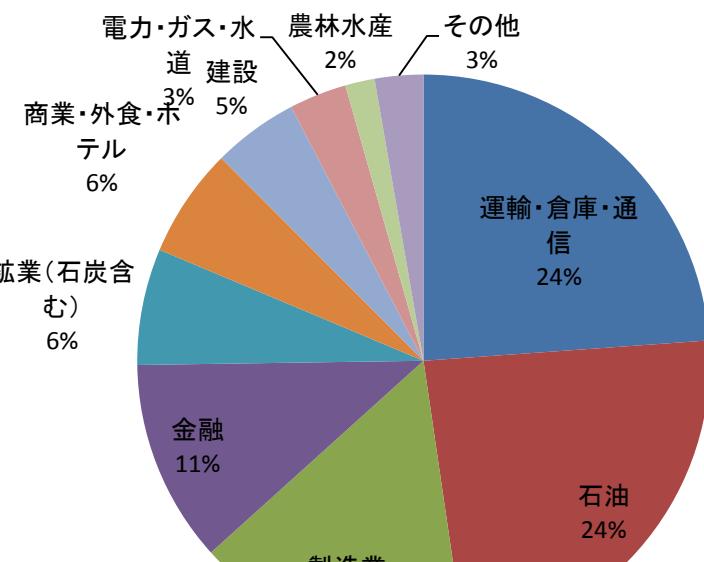
(出所) 中央銀行統計

(注-1) 国際収支ベース

(注-2) 06～直近年推定値

出所:中央銀行

2017年のFDI受入れ構成比



主要国・地域別のFDI受入れ状況(1994-2015年、百万ドル)

国・地域	累計値	構成比
欧州地域(英国、スペイン等)	50,343	33.0%
タックス・ヘイブン地域(*)	35,727	23.4%
米国	31,720	20.8%
日本	437	0.3%
その他地域	34,376	22.5%
合計	152,603	100%

(*)ルクセンブルグ、英領アンギラ、パナマ、バミューダ

●近年の治安回復・国内経済回復により、運輸・倉庫・通信、製造業、金融などがFDI受入拡大傾向

コロンビアの魅力と課題

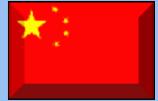
魅力	課題
<ul style="list-style-type: none">・政治・経済の安定 ハイパーインフレ経験がない 健全な財政運営・拡大する中間層 中間所得層が低所得層を上回る・労働者の質の高さ 真面目で、手先が器用 生産効率が高い・FTAネットワーク(対米欧中南米) 50カ国と15のFTA発効 日本とのEPA交渉中・両洋に港、空港欧米路線拡大 パナマ運河拡張最適な輸送条件 米州主要都市は6時間以内のフライト	<ul style="list-style-type: none">・インフラの未整備 WEFの交通インフラ競争力指数(2017-2018) 米国6.0(6位)、中国5.4(17位) メキシコ4.5(38位)、チリ4.2(47位) ブラジル3.7(65位)、<u>コロンビア3.1(98位)</u>・税制・税務手続きの煩雑さ WEFの徴税競争力指数(2017-2018) チリ30.5(39位)、中国34.5(58位) 米国44.0(95位)、メキシコ52.0(116位) ブラジル68.4(134位)、<u>コロンビア69.8(135位)</u>・治安 WEFの治安競争力指数(2017-2018) 中国5.3(35位)、米国5.2(45位)、 チリ5.1(50位)、ブラジル4.0(104位)、 メキシコ3.2(130位)、<u>コロンビア3.1(132位)</u>

コロンビア参入企業概要-1



2018

Amazon社(米国):ボゴタにカスタマーセンターを設立し、600人を雇用予定。



2018

Xiaomi(中国):ラテンアメリカ発の店舗をボゴタ市内に店舗をオープン



2018

名創優品(中国):ボゴタ市内にMiniSoを2店舗オープン



2018

Accenture(アイルランド):メデジンに先端技術センターを設置。



2018

株式会社アシックス(日本):同社商品の販売強化のため現地法人を設立(設立は2017年7月、営業は2018年1月)。

コロンビア参入企業概要-2



2017

Brambles社(豪州)：メデジンのコロンビア企業“Empacotecnica”を買収。
パレット



2017

Sanyang Motor社(台湾)：アンティオキア県に自動二輪の組み立て工場設立。



2017

Endava社(英国)：ボゴタにソフトウェア開発拠点を設立。



2017

いすゞ自動車株式会社(日本)：ボゴタにいすゞ車向けの車両用中古エンジンの再生事業のための工場設立。

新車販売の動向

【コロンビアにおけるブランド別トップ10新車販売】

順位	ブランド	2014年	2015年	2016年	2017年	構成比	伸び率	2017年1~6月	2018年1~6月	構成比	伸び率
1	シボレ	82,021	67,755	60,025	51,196	21.5	△ 14.7	25,152	23,534	20.8	△ 6.4
2	ルノー	49,758	48,870	50,864	46,796	19.7	△ 8.0	23,053	22,268	19.7	△ 3.4
3	日産	21,293	20,180	18,247	21,058	8.8	15.4	9,844	10,357	9.2	5.2
4	起亜	31,644	28,386	26,271	19,792	8.3	△ 24.7	9,505	9,503	8.4	△ 0.0
5	マツダ	11,348	15,766	18,136	18,689	7.9	3.0	8,727	9,094	8.0	4.2
6	フォード	21,314	16,152	15,963	15,145	6.4	△ 5.1	7,383	5,557	4.9	△ 24.7
7	トヨタ	13,746	9,048	8,522	9,593	4.0	12.6	4,026	6,118	5.4	52.0
8	フォルクスワーゲン	8,929	7,397	8,599	9,260	3.9	7.7	4,515	5,581	4.9	23.6
9	現代	21,277	17,680	5,967	8,575	3.6	43.7	3,662	2,250	2.0	△ 38.6
10	スズキ	7,499	8,163	6,908	7,247	3.0	4.9	3,142	3,303	2.9	5.1
合計(その他含む)		326,023	283,267	253,395	237,957	100.0	△ 6.1	112,974	113,173	100.0	0.2

・ブラジル・コロンビア間の経済補完協定第72号

2018年: 2万5,000台

域内原産割合(RVC) ブラジル⇒コロンビア: 50%(全体の4/5)、35%

域内原産割合(RVC) コロンビア⇒ブラジル: 35%(全体の4/5)、50%

2019年～2024年: 5万台

域内原産割合(RVC) ブラジル⇒コロンビア: 50%(全体の9割)、35%

域内原産割合(RVC) コロンビア⇒ブラジル: 35%(全体の9割)、50%

なお、3.5トン超のトラックや16人乗りを超えるバスは対象外。

・アルゼンチン・コロンビア間の経済補完協定第72号は以下サイトを参照。

http://www.aladi.org/biblioteca/publicaciones/aladi/acuerdos/ace/es/ACE72/web/16_Anexo_II_Ap_5_2.pdf



写真：国際モーターショー会場風景
(於ボゴタ市内展示会場、ジェトロ撮影)

出所:自動車委員会(Comité Automotor)、税務当局(DIAN)、運輸省(RUNT)

FINTECH

【EC市場】

- 2017年EC市場規模は、前年比24%増の512億ペソ(約18億4,300万円、1ペソ=約0.036円)。
- うち、商品やサービスの購入額は146億ペソ(前年比14%増)と取引全体の約3割を占める。また、決済方法の94%はクレジットカード。
- 携帯電話普及率96.4%、スマートフォン普及率71.2%

【決済に関するFintech普及度】

・ 交通機関

ボゴタ市内の専用レーンを走る連結バスや主要道路を走るバスでは、IC乗車カードが導入されている。チャージできる金額は最高32万3,000ペソ(約1万1,800円)まで。バス専用のICカードであり、物品やサービスの購入には使用できない。また、現金払いによるバスの乗車は出来ない。

・ クレジットカード

ボゴタ市内のホテル、レストラン、ショッピングモール、スーパーなど多くの店ではクレジットカードが使える。しかし、住宅街の小さな食堂や肉屋、八百屋などでは使えないことも多い。2018年6月末時点のカード発行数は、1,503万8,013枚。

・ 仮想通貨

現在コロンビアには仮想通貨の取り扱いに関する法令が無いが、8月に法案が提出され、今後議論が進められる予定。法案では、仮想通貨取扱業者の登録や、運営資金に関する情報提供、売買の方法、リスクの周知などについて定めてある。

・ 非接触型決済

タクシー配車サービス、レストランメニュー宅配サービス、映画のチケット購入、医療保険サービスなど、さまざまなアプリで非接触決済が可能である。また、銀行のアプリでQRコードを用いた非接触決済が可能なものもある。いずれの場合も、クレジットカードの保持が前提となっている。

ご清聴ありがとうございました。

【ご注意】

本日の講演内容、資料は情報提供を目的に作成したものです。

主催機関および講師は資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否はお客様のご判断で行いください。

また、万一不利益を被る事態が生じましても主催機関及び講師は責任を負うことができませんのでご了承ください。

ご参考資料

コロンビアの外資規制概要

【規制業種・禁止業種】

- 防衛、治安、国外産出の有害物質・放射能物質の処理・廃棄を除き、どの経済分野への外国投資も認める。
- また、少数の分野を除いて事前承認も必要ない。
ただし中央銀行への届け出は必要。

【事前承認が必要な投資】

- 金融機関・保険部門への投資(金融監督局)
- 炭化水素分野、鉱業への投資(鉱業・エネルギー省)
- 証券投資

直接の投資ではなく、外国投資ファンドを通じての証券投資。この場合外国投資ファンドが金融監督局に事前許可を申請。

(出所)ジェトロ・J-FILE

【出資比率】

外国資本の投資はいかなる金額でも実施可能(外資100%による企業設立も可能)

【資本金に関する規制】

金融関係を除き最少払込資本金についての規定なし

【現地人の雇用義務】

労働法第74条で規定されていたコロンビア人労働者と外国人労働者の雇用者数の割合および第75条で規定されていた外国人就労者の雇用比率の変更については、2010年法律第1429号により撤廃され、コロンビア人の雇用義務については規定されていない。

コロンビアの税制

- 2016年12月30日に、2016年法律第1819号が発効。
 - 付加価値税(IVA)が16%から19%に引き上げられたほか、法人税の一本化が行われた。

表 主な税制改正

種別	税率など
法人所得税	2018年:33%(2017年:34%)。 課税所得額が8億ペソを超える法人に対しては、2018年は4%の上乗せ課税が適用される(2017年:6%)。 フリートレードゾーン利用者は20%。
付加価値税	一般税率19%、特別税率5%又は0%。 0% 牛肉、魚、養殖エビ、卵、牛乳、12カ月までの赤ちゃん用ミルクなど 5% コーヒー、小麦粉、食用油、チョコレート、電気自動車(10人乗り以上)、生理用品など
たばこ税	一箱(20本入)あたり700ペソ
ガソリン・軽油税	ガソリンは1ガロン当たり135ペソ、軽油は152ペソ
単一課税	所得額が1,400UVTから3,500UVTの小規模事業主に対する課税。 所得額に応じ、16UVT、24UVT、32UVTの課税(注)。

(出所)2016年法律第1819号をもとに作成

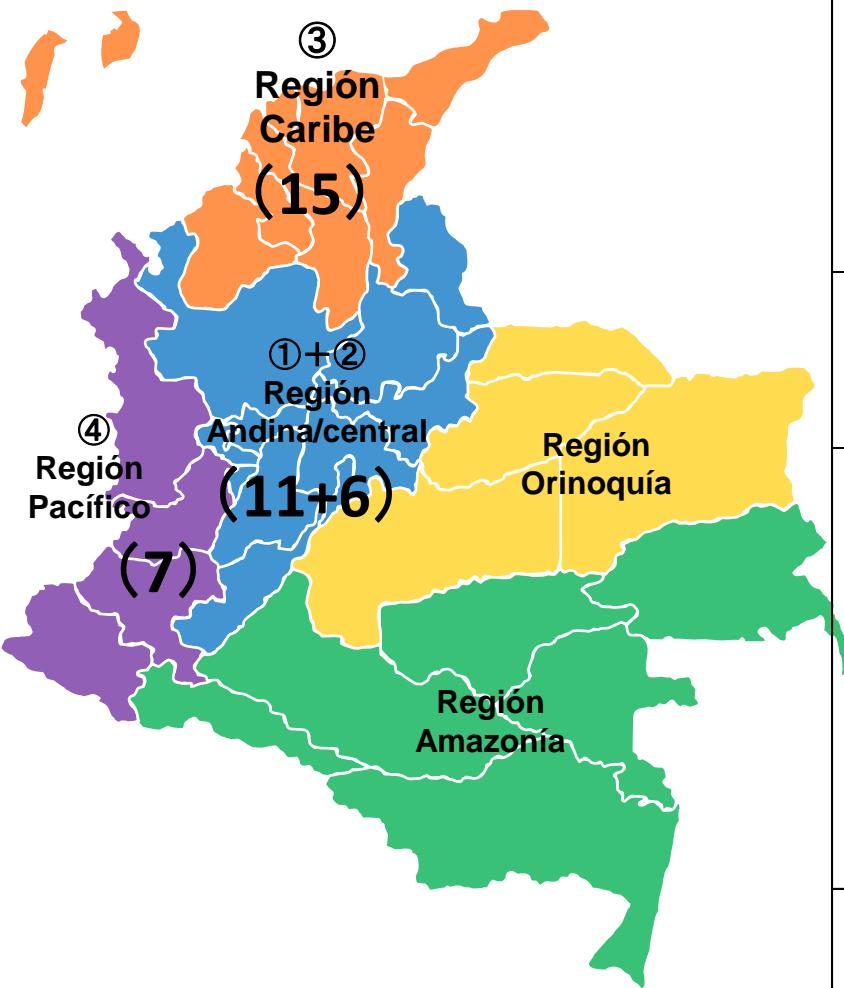
(注)UVTは課税基準単位。2018年の1UVTは3万3,156ペソ。

主要拠点設立形態概要(単純型採用傾向)

	1. 株式会社 (S.A.: Sociedad Anonima)	2. 有限責任会社 (Limitada.またはLtda: Sociedad de Responsabilidad Limitada)	3. 支店 (Sucursal)	4. 単純型株式資本会社 (SAS: Sociedad por Acciones Simplificada)
設立	公正証書による設立。公証役場では引受資本金の0.27%~0.29%の公証人手数料並びに同手数料の付加価値税(16%、IVA)を支払うこと。			公証役場での設立株主署名による私文書設立。署名認証に係る手数料は発生。公証人手数料は不要。
登録		所在地の市の商業会議所に登録する義務あり。 引受資本金の0.7%相当額を登録権料として支払う		
出資者数	最低5名の株主。いずれも会社の資本金の95%以上を保有できない。	最低2名、最高25名。出資者当たりの出資割合の制限は無い。	支店は外国企業の施設と考慮されるため、制限は適用されない。	最低1名の株主。株主数に制限は無い。
資本金	会社資本金の主な構成は次の通り:①授権資本金、②引受資本金、③払込資本金。株主は、設立時に少なくとも授権資本金の50%の出資並びに引受資本金の3分の1の支払いを行うこと。残りの3分の2は1年以内に支払わなければならない。	会社の資本金は、設立時に総額支払われなければならず、その増加が正式になった際にも同様である。	支店の資本金は、本社が決定し金額の制限は無い。設立時に全額支払われなければならない。	資本の登記と支払いは、株主が設定した条件、比率に基づいて行うことが出来る。いずれの場合も、資本金の支払い期間は2年以内に行わなければならない。
利点	出資者の責任は出資額に限定	1名または2名の出資者で設立可能。責任はごく稀な例を除いて出資額に限定される。	・届け出のプロセスにおいて、国が日本での経験と財務能力を認めることが出来る。 ・取締役会を有する義務がない。	・私文書による設立が可能なため、時間と費用が少なくて済む。 ・株主1名から設立が可能。 ・会社目的は、合法であれば幅広い活動が可能。 ・定款で定められていない限り監査人を有する義務がない。

(出所)コロンビア投資環境ガイド(2018年3月、ジェトロ・ボゴタ事務所発行)

フリートレードゾーン(FTZ)国内分布



地域名	自治体(県名)	フリートレードゾーン名	小計
① Región Andina アンデス地域	Norte de Santander	Cúcuta	11
	Santander	Santander	
	Boyacá	Agroindustrial GEA	
	Tolima	Indusrial y Logistica de Ibagué	
	Cundinamarca	Intexzona	
		Metropolitana	
		Occidente	
		Zofrandina S.A.S.	
		Tocancipa	
		IFOU S.A.S.	
		Bogotá	
② Región Occidental 西部地域	Antioquia	Rionegro	6
		Zofiva S.A.S.	
		Uraba	
	Quindío	Eje Cafetero	
	Caldas	Andina	
③ Región Caribe カリブ海地域	Risaralda	Internacional de Pereira	15
	Atlántico	La Cayena	
		ZOFIA	
		Barranquilla	
		Del Río	
	Bolívar	Santelca	
		Parque Central	
		Puerta de las Américas	
		Dextón	
		La Candelaria	
		Zofranca	
	Guajira	Brisa	7
	Magdalena	Las Américas	
		Tayrona	
		Palermo	
④ Región Pacifico 太平洋地域		Santa Marta	
Huila	Surcolombiana		
Cauca	Cauca		
	Parque del Sur		
Valle del Cauca	Celpa		
	Pacifico		
	Zonamerica		
	Palmaseca		
	合計(永久FTZ制度のみ)		

ボゴタ市・メデジン市とのコスト比較

		(単位:USドル)		
土地購入価格及び賃料		ボゴタ	メデジン	備考
工業団地	土地購入価格(1m ² 当たり)	207.20	621.06	管理費、税金等含まない。
	賃料(月額1m ² 当たり)	6.04	5.92	
市内	事務所賃料(月額1m ² 当たり)	20.16	15.73	
	中心部店舗/ショールーム賃料(月額1m ² 当たり)	85.19	18.22	
	駐在員用住宅借上料(アパート、月額)	1,356	1,296	

職種別月額賃金		ボゴタ	メデジン	
製造業	ワーカー(一般工職)	862	849	残業代、賞与、退職金積立を含む
	エンジニア(中堅技術者)	1,745	1,595	
	中間管理職(課長クラス)	5,494	4,753	
非製造業	スタッフ(一般職)	1,618	1,441	残業代、賞与、退職金積立を含む
	スタッフ(営業職)	1,093	1,009	
	マネージャー(課長クラス)	5,269	5,695	
	店舗スタッフ(アパレル)	594	530	
	店舗スタッフ(飲食)	422	457	

(出所)ジェトロJ-File 投資コスト比較

(注)1米ドル=2,898.32コロンビア・ペソ(2018年1月8日のインターバンクレート)

物流インフラ

- インフラ事情

- 5,000m級のアンデス山脈が国土を南北に分割していることから東西の物流の妨げとなっており、特に太平洋側との物流を可能とするインフラ整備が課題。
- 世界経済フォーラムによる国際競争力ランクイング(137カ国・地域)
 - インフラ部門87位(道路:110位、鉄道:96位、港湾:77位、空路:81位)
- 道路総延長距離:20万3,392Km(日本は127万3,620Km)
- 橋梁数:約1,500カ所(日本は5万8,073カ所)
- トンネル数:約200カ所(日本は8,970カ所)

- 複合輸送基本計画 (Plan Maestro de Transporte Intermodal)

都市、地域、国境、空港、港湾をつなぐインフラを整備し、国の経済成長を目指す政府主導の計画。2015年に開始し、2035年までの計画。

戦略目標

1,334Kmの新しい道路建設	道路網の60%以上を良好な状態へ	WEF国際競争力インフラ部門で、中南米10位以内に	生産拠点と港間の移動時間を30%削減(第4世代道路整備計画)	車両の運用コストを20%削減(第4世代道路整備計画)
-----------------	------------------	---------------------------	--------------------------------	----------------------------

第4世代道路整備計画

**投資総額 約170億ドル
総延長 8,000km
着工済 23プロジェクト
資金調達済 15プロジェクト
(国内銀行42%、国外銀行15%、
その他43%:国家開発基金・デット
ファンド・年金基金・機関投資家)**



ボゴタ地下鉄計画

- ボゴタ地下鉄計画(第1次路線)概要

<p>全長23.96km ・ボゴタ市の東西を27分で結ぶ ・16駅(うち10駅は既存バスと相互乗り入れ可能)</p>	<p>高架式 100%高架式 地上13.5メートル</p>	<p>投資総額44億ドル 政府 70% ボゴタ市 30%</p>
<p>2024年開業</p>	<p>2018年8月6日 入札プロセス開始</p>	<p>調達済み IDB 6億7,000万ドル 世界銀行 6億7,000万ドル 欧州投資銀行 5,600万ドル</p>



• 中南米主要100港コンテナ取扱量推移及び伸び率
(単位:TEU, %)

順位	港	国	2015	2016	伸び率
1	サントス	ブラジル	3,645,448	3,393,593	△ 6.9
2	コロン	パナマ	3,577,427	3,258,381	△ 8.9
3	バルボア	パナマ	3,294,113	2,989,860	△ 9.2
4	マンサニージョ	メキシコ	2,458,135	2,580,660	5.0
5	カルタヘナ	コロンビア	2,606,945	2,301,099	△ 11.7
6	カジヤオ	ペルー	1,900,444	2,054,970	8.1
7	グアヤキル	エクアドル	1,764,937	1,821,654	3.2
8	キングストン	ジャマイカ	1,563,272	1,567,442	0.3
9	ブエノスアイレス	アルゼンチン	1,433,053	1,352,068	△ 5.7
10	サンアントニオ	チリ	1,170,184	1,287,658	10.0
19	ブエナベントゥーラ	コロンビア	911,533	864,749	△ 5.1
52	バランキージャ	コロンビア	148,880	158,187	6.3
56	サンタマルタ	コロンビア	102,037	120,468	18.1
92	サンアンドレス	コロンビア	13,711	5,770	△ 57.9

(出所)コロンビア運輸省港湾交通監察局 (Superintendencia de Puertos y Transporte)

• 2016年 コロンビア主要港の動き

(単位:トン)

	輸入	輸出	輸出入合計	沿岸輸送 (カボタージュ)	河川	転送	積み替え (国際)	合計
サンタマルタ	2,840,840	3,695,448	6,536,288	3,056	-	19,141	-	6,558,485
バランキージャ	2,766,937	1,467,666	4,234,603	19,021	31,078	-	16,937	4,301,639
カルタヘナ	878,237	625,504	1,503,741	-	-	2,264,329	468,819	4,236,889
ブエナベントゥーラ	11,797,708	1,989,567	13,787,275	-	-	6,098,879	-	19,886,154
トウマコ	-	6,000	6,000	12,000	-	-	-	18,000

(出所)コロンビア運輸省港湾交通監察局 (Superintendencia de Puertos y Transporte)

• カルタヘナ港及びブエナベントゥーラ港の品目別取扱量(輸入)

カルタヘナ	CIF価格(単位:百万ドル)			Net重量(単位:トン)		
	2015年	2016年	伸び率	2015年	2016年	伸び率
軽油(廃油及びバイオディーゼルを含有するものを除く)	591	304	-48.6%	1,116,086	821,199	-26.4%
塩化ビニル(クロロエチレン)	262	260	-0.9%	414,109	432,951	4.5%
プロパン(プロピレン)	307	256	-16.6%	361,763	329,002	-9.1%
自動車用ガソリン(廃油及びバイオディーゼルを含有するものを除く)	521	256	-50.8%	814,947	568,039	-30.3%
その他旅客用車両(シリンダー容積が1,500cm³を超えるもの)	205	203	-1.3%	18,896	21,912	16.0%
その他	10,304	9,571	-7.1%	7,228,761	7,143,983	-1.2%
全体	12,191	10,850	-11.0%	9,954,563	9,317,085	-6.4%
ブエナベントゥーラ	CIF価格(単位:百万ドル)			Net重量(単位:トン)		
	2015年	2016年	伸び率	2015年	2016年	伸び率
テレビ、放送受信機、録画機器、LED画面付映像又は音響再生機器	395	432	9.6%	12,243	14,893	21.6%
とうもろこし	426	365	-14.1%	2,129,572	1,972,144	-7.4%
その他旅客用車両(シリンダー容積が1,500cm³を超えるもの)	251	286	13.9%	27,069	30,416	12.4%
その他小麦	264	283	7.2%	1,003,557	1,295,578	29.1%
大豆油の抽出残留物	242	236	-2.9%	575,010	602,598	4.8%
その他	9,870	9,039	-8.4%	7,138,858	7,262,551	1.7%
全体	11,448	10,642	-7.0%	10,886,309	11,178,180	2.7%

(出所)国税庁(DIAN)

- カルタヘナ港及びブエナベントウーラ港の品目別取扱量(輸出)

カルタヘナ	FOB価格(単位:百万ドル)			Net重量(単位:トン)		
	2015年	2016年	伸び率	2015年	2016年	伸び率
原油、鉱物油	12,262	7,682	-37.4%	40,533,122	31,409,805	-22.5%
コーヒー豆(焙煎していないもの、カフェインを除いていないもの)	857	783	-8.6%	238,253	235,152	-1.3%
燃料油(廃油及びバイオディーゼルを含有するものを除く)	800	712	-11.0%	3,406,648	3,995,301	17.3%
軽油(廃油及びバイオディーゼルを含有するものを除く)	56	594	9.67倍	201,126	1,727,942	7.59倍
フェロニッケル	430	328	-23.7%	128,632	127,741	-0.7%
その他	3,857	4,209	9.1%	2,369,633	3,863,200	63.0%
全体	18,261	14,308	-21.7%	46,877,413	41,359,141	-11.8%
ブエナベントウーラ	FOB価格(単位:百万ドル)			Net重量(単位:トン)		
	2015年	2016年	伸び率	2015年	2016年	伸び率
コーヒー豆(焙煎していないもの、カフェインを除いていないもの)	1,496	1,352	-9.6%	429,641	417,102	-2.9%
甘しや糖、てん菜糖及び化学的に純粋なショ糖(個体に限る)	244	173	-29.0%	578,257	339,577	-41.3%
その他の甘しや糖(香味料、着色料が添加されていないもの、個体に限る)	81	81	-0.2%	163,639	142,783	-12.7%
チョコレート類、キャンディー類	82	73	-11.2%	46,993	43,010	-8.5%
重量94%未満の銅を含む廃棄物やスクラップ銅。	68	64	-5.0%	13,955	14,944	7.1%
その他	1,644	1,656	0.7%	1,822,152	1,639,634	-10.0%
全体	3,615	3,399	-6.0%	3,054,637	2,597,049	-15.0%

(出所)国税庁(DIAN)

觀光

国際観光客到着数

(単位:千人、%)

	2014	2015	2016	2017	前年比
外国人	1,968	2,288	2,593	3,233	24.7
在外コロンビア人	598	690	724	794	9.6
国際クルーズ	314	272	305	345	12.8
合計	2,880	3,250	3,623	4,372	20.7

(出所)商工観光省

- 国籍別順
ベネズエラ、米国、ブラジル、
アルゼンチン、メキシコ
- 訪問先
ボゴタ(39.2%)
ボリーバル県(カルタヘナ、14.9%)
アンティオquia県(メデジン、12.8%)
バジェ・デル・カウカ県(カリ、7.0%)
サンアンドレス島、プロビデンシア(3.9%)